

横浜港の玄関として、2

002年12月に完成した大
さん橋国際客船ターミナル。屋上広場には、船の甲板のような板張りの床と、うねるような芝生の丘が広がり、休日には家族連れやカップルでにぎわう。天気の良い日には、はだしになつてのんびりと、ちょっと待った！ 足元に注意しないと、思わぬこと。

◇ 同ターミナルは、04年度には年間157万人が訪れ

横浜港大さん橋 屋上

床板のトゲに注意！

耐久性高い

「イペ」材使用

いである。

市港灣局によると、屋上

の広場で遊ぶ子供が、転んだり素足で歩き回ったりして、とげが手足に刺さる事故が、03、04年は、年間100件以上に上った。

同局では、今春の大型連

休から、注意を呼びかける看板を約80枚設置したり、

1時間ごとに場内放送を流したりして、今年の件数は半分以下に減ったものの、けがをする子どもは後を絶たないという。ほとんどが小学校低学年以下の子供で、やはり薄着になる夏に多かった。特に、スロープ

や芝生部分との境目での事故が目立つという。

11/24
、05

子供のけが 昨年100件以上

ターミナルでは、窓口に
とげ抜きと消毒液を用意し
ているが、なかには、とげ
が抜けず、病院に駆け込ん
だケースもあった。

同局では「イペは木材で
ある以上、とげをなくすこ
とはできない。でも、規制
すると、せつかくの開放的
な空間で来場客の楽しみが
なくなってしまう」と頭を
悩ませ、「小さい子供から
は目を離さないようにして
ほしい」と注意を呼びかけ
ている。